

父 田中秀雄を偲んで 弁護士 田中 勇輝

本年3月29日弊所の所長であった父 田中秀雄が亡くなりました。享年79歳でした。この事務所ニュースで初めてお伝えする方も多くいらっしゃるかと思いますが、ご連絡が遅くなりましたことをお許し下さい。

まずは、皆様からの生前のご厚情に息子として心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

亡くなった経緯について改めてお伝えをさせて頂きたいと思っております。本年2月初めまでは、変わらず元気で、私の息子の面倒を見てもらって王子動物園にも出掛けていました。その後間もなく、腹痛を訴え始め、食事も固形物が取れなくなったとのことで、胃カメラの予約を入れましたが、なかなかすぐには予約も入らず、一度胃カメラを飲んだ後も、また、精密検査も必要となり、3月3日に少し大きな病院での胃カメラの検査となりました。2月からほとんど食事もおらず、当然痩せてきてしまい、かなりフラフラな状態でしたが、何とか3月2日まで毎日事務所に来て、裁判所にも行き、依頼者の方とも打合せをしていました。

しかし、3月3日に胃カメラを飲んで、胃の内部の出血が激しいということで、緊急入院となりました。その後1週間ほどで医師の先生から、悪性リンパ腫のステージⅣとの告知を受けました。家族からは、治療の可能性も聞きましたが、父は即座に、「自分はもう長く生きたくもないし、治療はしない、家に帰る。」と答えました。昔から良くも悪くも、全てを自分で決め、人の言うこと

を聞かない人でしたので、それが決定事項になり、その週には自宅に帰り、いわゆる緩和ケアを行っていくことになりました。

そこから何日かはベッドに横たわるか、椅子に座っているかの生活でしたが、食事をすることも叶わず段々と痩せていく日々でした。そして、本人も家族もあと何ヶ月かは大丈夫と聞いていましたが、26日頃からはベッドからも動けないようになり、その後わずか3日で息を引き取りました。

父の最期を見て、改めて田中秀雄という人間の潔さと意志の強さを感じました。誰に弱音を吐くこともなく、相談することもなく、自分で最期を決め、それを貫きました。頑固で、人の言うことを聞かない人でしたが、それは裏返せば強さだったのだと感じた次第です。

昔からよく、笑い話で、自分は「法廷で死にたい」と申しましたが、それに近い形での最期となりました。

2013年に父が神戸合同法律事務所を退所、独立して弊所を立ち上げ、私も弁護士1年目で拾ってもらい、そこから10年目

に入ったところでした。一緒にやり始めた時は、もう父の年齢も70歳でしたので、5年一緒にできれば良いくらいに考えていましたが、10年も一緒に働くことができ良かったと思っています。一緒に働いたことは親孝行でも何でもなく、父に拾ってもらい、弁護士としてやっとこさ仕事をできるところまで育ててもらったので、息子として最後まで世話をかけてしまったなという思いです。

何かの前触れだったのか、父がこの事務所ニュース第17号で書いたエッセーでは、私のことを「もう教えてやれることはもう何もない」「免許皆伝」と書いてくれていました。そう言ってもらえるほどかは置いておいて、亡くなる前にそういう記事を残せたことはとてもありがたいことでした。

これまで多くの皆様に支えられて、田中秀雄は弁護士生活48年を送ることができました。間もなく法曹50年という表彰を受け

られる年でしたが、それよりも亡くなる直前まで弁護士として仕事をできたことを誇らしく思っていると思います。お世話になりました依頼者の方々、先輩後輩弁護士の方々、各団体の方々皆様に御礼の言葉をお伝えする間もなく亡くなってしまいました。皆様のお力添えの賜物かと存じます。誠にありがとうございました。

私自身については、いつかは来ると思っていた独り立ちが準備の間もなく訪れ、今はまだ父の残した事件処理に追われる毎日ですが、父に追いつき、追い越せるようにこれからも弁護士として、また、人間として日々精進して参りたいと思います。

たいと思います。

この事務所ニュースも、父の出身の神戸合同法律事務所で作っているニュースを参考に始めたものです。ひとまず、本号は、父へのご厚情の御礼をお伝えするべく発行させて頂きました。今後も細く続けていけたらと思っています。

今年で40歳、弁護士10年目、ここで今一度初心に戻って弁護士業に励みたいと思いますので、私田中勇輝、法律事務所絆ともども、皆様からの変わらぬご支援、ご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸いです。



弁護士 田中秀雄 経歴

1943年1月 東京都新宿区西早稲田生まれ
 1965年3月 早稲田大学法学部卒
 1965年～1970年
 大成火災海上保険株式会在籍
 1975年 弁護士登録

<主な役職>

神戸弁護士会(現兵庫
 神戸簡易裁判所調停委
 尼崎大気汚染公害訴訟
 日弁連裁判官制度改革・
 兵庫県弁護士会司法界
 兵庫県弁護士会紛議調